

平成30年度
地域国際化ステップアップセミナーin福山



ダイバーシティ×防災

誰一人取り残さない～自然災害の経験を踏まえてこれからは備える～

SDG目標11 住み続けられるまちづくりを

話題提供：

<http://www.plaza-clair.jp/information/event190111.html>

田村太郎氏

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事
「誰一人取り残さない災害対応をめざして～近年の取り組みから～」

話題提供：

楊梓氏

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大地震記念
人と防災未来センター 研究部 研究員
「災害時の外国人支援の実情と課題」

コメンテーター：

明城徹也氏

特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) 事務局長

事例紹介：

岡崎俊輔氏

ふくやま国際交流協会 事務局長 (福山市市民相談課長)
「西日本豪雨災害を教訓として」

譚俊偉氏

岡山県総社市市民生活部 人権・まちづくり課
国際・交流推進係 主事
「外国人住民が主体となる地域防災と災害時対応」

明木一悦氏

特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会 事務局長
「広域連携による災害対応の現状と課題」

菅野竜平氏

ダイキグループ 株式会社ダイキ 海外事業部 次長
「企業における外国人の雇用と
西日本豪雨水害での対応について」

日時： 2019年 1月11日 (金)
13:30～17:30
(受付：13:10～)

会場：

エピコRiMセミナールームA

広島県福山市西町1-1-1 <http://rim-f.jp/access/>
山陽新幹線・山陽本線 福山駅から徒歩5分



申込方法：

下記URLより申込みフォームへご入力ください

<https://goo.gl/1McHDZ>

申込フォームが利用できない場合

①～⑥を記載の上、メールでお申込みください
international_cooperation@plaza-clair.jp

- ① 件名【1/11セミナー参加申込】
- ② お名前 (ふりがな) ③ ご所属
- ④ ご連絡先 (TEL、E-mail) ⑤ 懇親会参加の有無
- ⑥ 本セミナーをお知りになったきっかけ

定員：50名 (定員になり次第終了)

対象者：全国の自治体・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、
その他関心のある方 (企業、学生、および一般市民)



主催：(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ／運営協力：ふくやま国際交流協会
後援 (一部申請中)：広島県、福山市、(公財)ひろしま国際センター、ふくやま国際交流協会



開催趣旨

「ダイバーシティ」とは、さまざまなちがいを受け入れ、多様性に配慮した地域や組織をめざす取り組みのことです。一人ひとりのちがいを尊重し、対等な関係を築こうとしながらより良い社会を目指すということは、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の基盤である「誰も取り残さない」という考えに通じます。

スピードとボリュームが最優先される災害時は、多様性への配慮が後回しにされがちです。誰も取り残されない災害を考えることは、災害大国日本においてとても重要です。折しも本年は記録的な豪雨、台風、そして巨大地震に見舞われ、新たな課題も見えてきました。

そこで本セミナーでは防災における「ダイバーシティ」の視点の重要性を認識し、今後、災害に備えるために何をすべきかを考える機会とします。とくに今後も増加が予想される外国人への災害時対応に焦点をあて、自治体・国際交流協会・NGO/NPOなどが情報を共有し、繋がるための“出会いの場”を提供します。

プログラム

開会 13:30～

話題提供 13:40～

田村 太郎氏

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

「誰一人取り残さない災害対応をめざして
～近年の取り組みから～」

阪神大震災で被災した外国人への情報提供を機に「多文化共生センター」を設立。地域における多文化共生社会の推進に携わる。自治体国際化協会参事（2005年度）などを経て、2007年から現職として企業や自治体によるダイバーシティの取り組みをテーマに調査研究やコンサルティングを行う。復興庁復興推進参与、明治大学大学院兼任講師も務める。



14:00～

楊 梓氏

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大地震記念 人と防災未来センター 研究部 研究員

「災害時の外国人支援の実情と課題」

2009年 中国・黒龍江大学 行政管理専攻を卒業、日本に留学。2011年～2017年 横浜国立大学・都市イノベーション学府、修士と博士を取得。平成30年4月より現職。専門分野は、災害時の外国人対応、GISを用いた多文化防災まちづくり。兵庫県学校防災アドバイザー、近畿運輸局調査事業検討会の外部アドバイザー、高砂市防災会議委員。



事例紹介① 14:30～

岡崎 俊輔氏

ふくやま国際交流協会 事務局長（福山市市民相談課長）

「西日本豪雨災害を教訓として」

1960年生まれ。大学卒業後、1982年福山市役所入庁。主に総務部門（人事・給与）に勤務した後、2007年安全厚生課長。保育課長、生活安全推進課長を経て、2018年から現職。



事例紹介② 14:50～

譚 俊偉氏

岡山県総社市市民生活部 人権・まちづくり課

国際・交流推進係 主事

「外国人住民が主体となる地域防災と災害時対応」

ブラジル出身。多様な業種に従事した後2009年より総社市多文化共生員として外国人住民の相談業務や通訳、行政文書の翻訳等の業務を行っている。本年からは市職員。総社インターナショナルコミュニティを立ち上げ、市民としても多文化共生推進に取り組んでいる。



事例紹介③ 15:15～

明木 一悦氏

特定非営利活動法人 安芸高田市国際交流協会 事務局長

「広域連携による災害対応の現状と課題」

アメリカ等海外勤務、国内での外資系勤務、安芸高田市議会議員を経て、現在安芸高田市多文化共生推進員及びNPO法人安芸高田市国際交流協会理事事務局長。1990年広島市内で多文化共生に関わる。東北大震災、広島市豪雨災害、熊本地震、西日本豪雨災害等で被災地支援活動。地域創生では、地域づくり計画書などを手掛けている。



事例紹介④ 15:35～

菅野 竜平氏

ダイキグループ 株式会社ダイキ 海外事業部 次長

「企業における外国人の雇用と

西日本豪雨水害での対応について」

ダイキグループ海外事業部にて主に外国人材の採用や活躍を広げる機会の創出に携わる。海外ではスリランカ・ベトナム事業所や現地大学との提携、国内ではダイキ日本語学院東京の運営を手掛ける。2017年からは難民支援を行うNPO法人World Big Bondsにて専務理事を務める。



コメンテーター **明城 徹也氏** 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD） 事務局長

福井県出身。米国の大学を卒業後、建設会社や NGO業界にて勤務。東日本大震災の際には発災直後より現地入りし、被災者支援・復興支援に従事する。その経験から全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）の立上げに関わり、事務局長に就任。現在は西日本豪雨災害対応などを行いつつ、支援者のネットワーク構築事業も行っている。



パネルディスカッション 16:10～ **ファシリテーター：田村太郎氏**

パネリスト：明城徹也氏、楊梓氏、岡崎俊輔氏、譚俊偉氏、明木一悦氏、菅野竜平氏

※終了後、別会場にて会費制の懇親会を予定しています。

市民国際プラザ

検索

お問い合わせ：一般財団法人自治体国際化協会 市民国際プラザ 担当：泉水(せんすい)、小川

TEL:03-5213-1734 Email:international_cooperation@plaza-clair.jp